

地域の猫について考える

映画に学ぶまちづくり



映画上映会のお知らせ

みんな生きている
～飼い主のいない猫と暮らして～

監督: 泉 悦子

※撮影・録音はご遠慮ください

会場

2015年3月21日(土)

東大阪市中鴻池リージョンセンター 1階

13:00開場 13:15上映

この映画は、保護した野良猫達の生き抜く力に感心すると共にその境遇に衝撃を受けた監督が野良猫の基礎知識を皆に知らせなくてはと思い創作されました。

また、猫を助けようと365日、昼夜奮闘しているボランティア、獣医、行政の人たちの様子、日本と同じ行政が殺処分しているアメリカと、行政が犬猫の殺処分を禁じている国、ドイツの取材もされています。

猫被害者も、猫が好きな人も、猫にも、住みよい町にするヒントが多く含まれている映画です。

東大阪市中鴻池町 2-3-12 [TEL:06-6747-1592](tel:06-6747-1592)

電車でお越しの場合・・・

JR 学研都市線「鴻池新田」から南東へ徒歩5分

車でお越しの場合・・・

駐車場は限られたスペースしかありませんので、できるだけ車のご利用はご遠慮ください

バスでお越しの場合・・・

近鉄バス「鴻池」下車すぐ

定員

200名

主催 鴻池地区から不幸な猫をなくす会

事前申込不要 参加費無料 ※お子様も入場できます

問合せ 06-6744-0281

入場無料です。昨年12月の大阪市の公園猫セミナーでも上映されました。猫に関わる様々な活動を日本・ドイツ・アメリカと取材したドキュメンタリー。見逃した方・近くの方、ぜひご覧になってください。

地域猫の活動の主体は猫のいる地域の住民です。

野良猫が増えないように避妊・去勢手術をして、マナーを守ったエサやりで新たに猫を集めず、きちんと被害対策をして、猫被害者も、猫が好きな人も、猫にも、住みよい町にしましょうという対策と言えるでしょう。

みんな生きている公式サイトより

鴻池周辺の取り組み

1. 猫の避妊・去勢手術を行い、元の場所に戻しています。(TNR)
2. 2011年10月より始めて約60匹の猫の不妊手術を行いました。
3. 不妊手術をした猫は一代限りとなるので、のちに猫の数が減ってきています。
4. 野良猫にエサを与えている人は、猫の糞の処理と周辺のゴミ清掃をしています。
5. エサ箱は現場に置いたままにせず持ち帰っています。
6. 不妊手術済みの猫は片耳をV字カットしています。
7. 不幸な猫を増やさないために、猫を捨てないでください。
8. 飼い猫は外に出さず家に中で飼育してください。交通事故や喧嘩による怪我のリスクを減らします。
9. 外に出る場合があるので、家猫も必ず不妊手術をしてください。



猫の不妊手術助成金制度

東大阪市では猫による被害の軽減と不幸な命を増やさない事を目的とした猫の不妊手術費を助成しています。

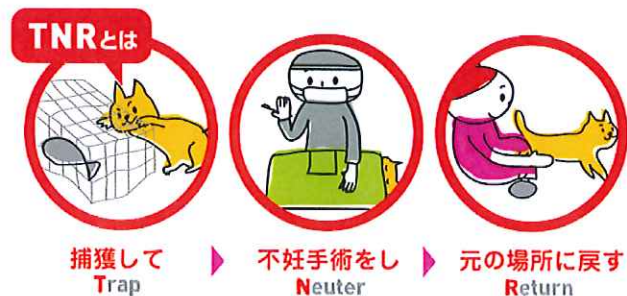
お問い合わせ

東大阪市動物指導センター

TEL:072-963-6211



不幸な野良猫・捨て猫を生み出さないために助成金を利用して不妊手術をしませんか？



不妊手術済みの目印として、猫の耳先をVカットします。全身麻酔がかけられているので、猫は痛くありません。出血もほとんどないです。



お問い合わせ
共生を考える市民の連絡会
06-6744-0281